空知管内♡心の教育推進月間の取組内容

北海道岩見沢西高等学校

「いじめのない学校を目指して」小・中学生と交流（どさんこ子ども地区会議、他）

〈 取組概要 〉

○ 小学生・中学生と、いじめのない学校にするために意見交流を行い、学校全体で安心・安全な環境を作るためにできることを話し合った。生徒のコミュニケーション能力を高めるとともに、小学校、中学校、高校の絆を深め、生徒の主体的な活動を推進した。

〈 具体的な取組内容 〉

1　どさんこ子ども地区会議において、小学生、中学生、高校生がいじめのない学校生活を送るために各学校で取り組んでいることを発表し合った。

2　岩見沢市内の高校間でいじめの防止策について意見交流し、いじめの根絶に向けた取組を推進することを共有した。

3　生徒会執行部が中心となって把握した本校でのいじめの状況を基に、生徒が主体的に取り組むことのできるいじめ防止策について検討した。

空知管内♡心の教育推進月間の取組内容

北海道岩見沢緑陵高等学校

「もぐもぐキッチン」子ども食堂（運営補助・手伝い・企画）

〈 取組概要 〉

○ 昨年度から、情報コミュニケーション科の課題研究において、「子ども食堂の運営（補助・手伝い・企画）」について研究をしている。生徒が、岩見沢市教育委員会子育て支援係に、「岩見沢市における子ども食堂について勉強したい。」という申し出をし、担当の方から、子ども食堂の主催者である川俣様をご紹介いただいた。

川俣様と連携し、子ども食堂における食事作りの補助や遊びの内容の企画等を行っている。

〈 具体的な取組内容 〉

川俣様が主催する子ども食堂には、小学校・中学校・高校で配布されるチラシを見て、地域の児童・生徒が親子や友達同士で訪れている。主催者の川俣様のご主人が制作したモグラたたき等の手作りおもちゃ遊びや廃材を利用した椅子作り体験等のほか、本校生徒が企画した実験・工作教室など、地域の子どもたちの居場所づくりを継続している。新型コロナウイルス感染症の影響で食事の提供ができないので、夏には夏祭り、秋にはハロウィンの衣装やかぼちゃをモチーフにした飾りづくりなど、遊びを通して子どもたちの居場所づくりに力を入れている。

空知管内♡心の教育推進月間の取組内容

北海道岩見沢農業高等学校

木育活動を通じた日の出保育園との交流

〈 取組概要 〉

○　本校森林科学科木育専攻班の生徒は、日の出保育園児を対象に、木材を加工する様々な活動を通して、森林や林業の大切さを伝える木育活動を行った。今回参加した保育園児は、本校の見本林を訪問し、「森の中の虫探しと色探し」をテーマに、先が丸い葉ととがった葉の違いを比べる活動等を通して、森の大切さや広葉樹と針葉樹の違いについて理解を深めた。

〈 具体的な取組内容 〉

1　高校生が主体となって行った日の出保育園児との交流

　木育活動では、参加した保育園児を小グループに分けて、高校生が常に保育園児をサポートする体制を整えることにより、保育園児が森の大切さを学びながら、活動をやり遂げる喜びや自信を持つことにつなげた。

2　日の出保育園児の主体的な学びをサポートした高校生

　木育活動の最後に、全３回の学びを振り返るお絵かき活動を行った。保育園児は、様々な体験を通じて学んだことをポスターにまとめた。高校生は、進んでポスター作りを行う保育園児に寄り添い、保育園児が楽しい発表ができるよう雰囲気づくりをした。

空知管内♡心の教育推進月間の取組内容

北海道美唄尚栄高等学校

健康事業「性教育講座」

〈 取組概要 〉

○　令和４年度健康事業「性教育講座」

　本事業は、性に関する知識と命の尊さを学び、生徒が自分自身の問題として考える学習を通して、自己の行動決定に必要な正しい判断力を身に付け、他者への思いやりの心を育むことを目的として実施している。１年次生を対象に実施しており、今年で 11 回目となる。

　今年度は、「将来、親となるあなたへ･･･“性”とはいのちのストーリー」をテーマに実施し、自他ともに大切にできる大人になるために、正しい知識を身に付け、命の尊さについて理解を深めることができた。

〈 具体的な取組内容 〉

1　美唄市病児保育室　看護師・助産師・思春期保育相談士
　荒町　絵里子　氏による講演

2　美唄市保健福祉部　健康推進課
　鈴木　沙綾　氏、長谷川　千夏　氏による「性と命の〇×クイズ」、「ミニ講義（子育ての実際　親になる覚悟）」

空知管内♡心の教育推進月間の取組内容

北海道長沼高等学校

社会の多様性と人権、他者との共生について考えよう

〈 取組概要 〉

○　社会の多様性と人権、他者との共生について理解を深めるため、「アイヌ民族学習」や「LGBTQ 講演会」を実施しました。

アイヌ文様切り絵体験

〈 具体的な取組内容 〉

1　アイヌ民族学習

- 千歳アイヌ文化伝承保存会や千歳アイヌ協会から講師を招き、弓矢体験、口承文芸カムイユカラ体験、アイヌ文様切り絵体験、ウポポ（伝統的唄）・ホリッパ（輪踊り）体験等の体験学習の実施
- アイヌ語の地名、アイヌの歴史、現存する差別についての学習
- 民族共生象徴空間「ウポポイ」での研修の実施

LGBTQ　講演

2　ＬＧＢＴＱ講演会

- 目的：自分や他者を大切にする気持ちを養うとともに、社会の多様性と人権について考えるきっかけとする。
- 講師：NPO 法人 北海道レインボー・リソースセンター L-port 代表理事　中谷　衣里　氏
- 演題：“らしさ”って何だろう？　LGBTQ から考える“じぶんらしさ”と“その人らしさ”

空知管内♡心の教育推進月間の取組内容

北海道栗山高等学校

生徒会が主体となって取り組む「いじめ根絶活動」

〈 取組概要 〉

○　栗山高校「いじめ撲滅宣言」の作成
○　全校生徒に対するいじめ撲滅のための寸劇の上演
○　令和４年度「絆づくりメッセージコンクール～いじめやネットトラブルの根絶を目指して～」の標語の製作
○　挨拶運動週間の実施

いじめ撲滅活動に関する寸劇

〈 具体的な取組内容 〉

生徒会が中心となり、次の活動を実施した。

1　全校生徒からいじめ撲滅のための標語を募集した。
2　生徒総会時にいじめ撲滅に関する寸劇を行い、寸劇を通していじめ撲滅への啓蒙活動を行った。
3　いじめやネットトラブルの根絶を目指し、よりよい人間関係づくりを呼びかけるメッセージを全校生徒から募集した。
4　挨拶の習慣を身につけ、生徒同士が挨拶を通じてよりよい人間関係を構築するため、前期と後期のスタート時に、挨拶運動を行った。

空知管内♡心の教育推進月間の取組内容

北海道南幌高等学校

「人は人の中で育つ」多くの人とふれあう交流学習

〈 取組概要 〉

○　年度初めに、南幌高校の授業に協力いただいている関係機関の方々に集まっていただき、今年度の各授業の目的や連携内容を共有した。

　南幌町役場、南幌町社会福祉課、「農業を介して街を元気に」をスローガンに活動している若者グループ「農猿」等と連携し、様々な体験学習や交流学習を行った。また、今年度に閉校する青森県立金木高校との交流を深め、生徒の心の成長を図った。

〈 具体的な取組内容 〉

1　「南幌町の農業の歴史についての講義、作付け、収穫、製品化、販売」までを学習パッケージとして、南幌町の農家や役場等と連携し、計画的・継続的な農業体験学習を行った。

2　生徒が自らイベントやゲームを企画し、南幌町内のお年寄りと異世代交流学習を実施した。

3　今年度で閉校する高校で、本校から一番近く、規模も同程度の青森県立金木高校とオンライン交流を行った。その後、実際に両校の学校を訪問し合い、学校祭のイベントを共同で実施した。

空知管内♡心の教育推進月間の取組内容

北海道芦別高等学校

高校生カフェ「Ｙｏｔｔｅ(ヨッテ)」世代間交流を目指して

〈 取組概要 〉

○　芦別市教育委員会が実施している「芦別市地方創生塾」の支援を受け、２年生の総合的な探究の時間の「地域ゼミ」に所属する生徒が主体となって、ワークショップやグループワークの企画・運営を行った。活動を通して、世代間交流が盛んになり、地域が活性化することを目指している。

〈 具体的な取組内容 〉

1　高校生カフェ「Ｙｏｔｔｅ（ヨッテ)」の企画・運営

　芦別市の道の駅スタープラザ芦別で高校生カフェ「Ｙｏｔｔｅ(ヨッテ)」を２回実施した。生徒が芦別市地方創生塾の方から支援を受けながら、地域の担い手として、地域の活性化と人と人との交流を考え、高校生カフェの企画から運営までを行った。多くの方が来店し、高校生の頑張っている姿を見て元気がもらえると評価していただいた。

2　高校生カフェ「Ｙｏｔｔｅ（ヨッテ)」の来場者に活動内容や芦別市の名産品をＰＲ

　高校生カフェの活動内容のほか「ガタタンラーメン」や「はちみつ」等の芦別市の名産品をPRする動画を作成し、高校生カフェの一角で来場者に披露した。

空知管内♡心の教育推進月間の取組内容

北海道深川西高等学校

薬物乱用防止教室（警察講話と生徒による薬物乱用防止宣言）

〈 取組概要 〉

○　12月２日（金）に、本校１・２年生を対象に、薬物乱用防止教室を実施しました。深川警察署生活安全課の警察官が講師となり、薬物乱用防止講話と代表生徒による薬物乱用防止宣言の宣誓を行いました。

○　講師からは、「一度でも薬物の誘惑に負けたら抜け出せなくなる。断る勇気を持つことが大切だ。」とのアドバイスがあり、代表生徒からは「薬物を絶対に使いません！誘われても断ります！」と力強い宣誓がありました。

〈 具体的な取組内容 〉

１　警察官による薬物乱用防止講話

ＤＶＤの視聴を交えながら、薬物に関わることの危険性や断る勇気の大切さ等に関わる講話を行った。

２　生徒代表による薬物乱用防止宣言

参加生徒を代表し、生徒会長が薬物の乱用防止を宣誓した。

空知管内♡心の教育推進月間の取組内容

北海道滝川高等学校

生徒会が主体となって取り組むボランティア活動

〈 取組概要 〉

○　生徒会執行部と有志の生徒が、地域の清掃や交通安全の啓発活動に取り組んだ。また、地域からの要請を受け、防犯ポスターの作成や地域のイベントの運営ボランティアへの参加等、地域の活動への協力を行った。

〈 具体的な取組内容 〉

１　交通安全運動

生徒会執行部が中心に旗の波運動に参加し、交通安全を呼びかけた。また、自転車の安全乗車ルールに関する啓発ポスターを作成し、交通安全の啓発に取り組んだ。

２　地域清掃運動

生徒会執行部の呼びかけのもと、有志による地域の清掃活動を定期的に行った。

３　防犯啓発活動

警察署からの依頼を受け、特殊詐欺被害防止啓発のためのポスターを作成した。作成したポスターは、校内にも掲示し、全校生徒の防犯意識の高揚に努めた。

空知管内♡心の教育推進月間の取組内容

北海道滝川工業高等学校

「ほくとくん」をあしらった撮影用の「顔出しパネル」の製作

〈 取組概要 〉

○　各種犯罪や交通事故防止を啓発するため、電子機械科の生徒が道警のマスコットキャラクター「ほくとくん」を描いた「顔出しパネル」を制作し、滝川警察署へ贈呈しました。

〈 具体的な取組内容 〉

- 生徒が制作したパネルは、中央部に「ほくとくん」、その左右には顔出し用の制服姿の警察官が描かれていて、市民が警察官に扮して「ほくとくん」と記念撮影ができるようになっています。
- 「ほくとくん」の足もとに置かれている、呼びかけの啓発ボードは、特殊詐欺の被害防止や交通安全など啓発内容に応じて取り替えられるようになっています。
- パネルが警察のさまざまな啓発イベントで活用され、地域の犯罪被害の減少に繋げてほしいとの生徒の願いが込められています。

空知管内♡心の教育推進月間の取組内容

北海道新十津川農業高等学校

農業体験学習（サツマイモ・水稲農業体験学習）

〈 取組概要 〉

○　目的

1　農業体験を通して、地域の産業をより深く学ぶ。
2　生産者の工夫や努力を知り、食への関心を深める。
3　世代間交流を通して、生徒のコミュニケーション能力を高める。

〈 具体的な取組内容 〉

新十津川小学校３年生と５年生を本校に迎えて、本校生徒が講師となり、サツマイモと水稲の収穫体験を行いました。その後、新十津川小学校で開催された収穫祭に本校生徒が参加しました。

本校生徒は、それぞれの生徒が担当する児童一人一人に収穫の手順を丁寧に説明しながら一緒に手作業で収穫したり、機械で収穫する様子等を見学してもらったりしました。収穫したサツマイモは本校農場にて一定期間キュアリングし、お米は稲架掛けによる自然乾燥後、脱穀、精米して小学校へ届け、児童がそれぞれ自宅に持ち帰って試食しました。

３年生の児童から収穫体験や試食の感想などが綴られた手紙が届いたり、５年生の水稲栽培の学習発表会を兼ねた収穫祭に本校生徒も参加したりするなど、活発な交流が続いています。

空知管内♡心の教育推進月間の取組内容

北海道奈井江商業高等学校

地域貢献を目指した「“チョコ”ボランティア活動」

〈 取組概要 〉

○　奈井江町にある唯一の高校として、少しでも奈井江町の役に立ちたいという思いから、「“チョコ”ボランティア活動」を実施しました。

　奈井江町内の高齢者の方々が困っていることを解消するため、地域の要望を把握しながら活動内容を決めました。

　本活動は、放課後にボランティア活動として実施しており、１人でも多くの生徒が参加できるよう、その都度参加を募って実施しています。

〈 具体的な取組内容 〉

１　第１弾　「地域の環境美化活動」（７月２回実施）

　町内に拠点を置く野球チーム「奈井江・空知ストレーツ」の選手と協力して、町内の空き家の草刈りを行いました。地域の方から空き家以外の草刈りも依頼され、地域との交流を深める貴重な機会となりました。

２　第２弾　「スマホ教室」（11 月実施）

　学校長が講師、生徒がサポート役となり、町民の方に「LINE」の機能と使い方をレクチャーしました。参加した方から「もっとスマホを使いこなせるようになりたいので、またやってほしい。」という声があり大変喜ばれました。

空知管内♡心の教育推進月間の取組内容

北海道雨竜高等養護学校

「絆づくり」へ向けた生徒の主体的・対話的な取り組み

〈 取組概要 〉

○　今年度、いじめを起こさせない学校の雰囲気づくりのため、生徒同士の「絆づくり」に力を入れています。生徒会役員を中心に「絆づくり」に向けた生徒主体の取組やアイディアを実現するために話合いを進めています。また、特別活動を通して、対話的な取組を推進しています。

〈 具体的な取組内容 〉

１　「あいさつ日本一」をスローガンに掲げ、声の大きさやトーン、表情など、挨拶運動で全校生徒が目指すべき姿をメッセージボードや動画にまとめ、視覚へのアプローチを工夫して挨拶運動を実施しました。

２　全校生徒がいじめを許さず、上手なコミュニケーションを取ることができるよう、生徒会や委員会で作成したポスターを掲示し、啓発活動を行っています。

　また、11 月には、絆づくりに向けて、「思いやり」が必要な理由や「思いやり」のある具体的な言葉や行動を全校生徒で考えました。各学級で話し合った意見をまとめ、校内で掲示し、全校生徒がお互いの考えを確認できるようにし、「思いやり」について理解を深めました。